

科目名 (科目番号)	病態生理学 (063641)	教員名 杉野一行	学科等	理学療法	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	金・1	後期	単位数	1
			オフィスアワー		月～金 18:00～19:30 (A309)		
授業概要	様々な疾患や障害の原因と、誘発される症状の発症の仕組みについて、代表的な疾患を取り上げ、生理学的に解説する。検査値の意味や治療の考え方についても触れる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	感覚・運動系疾患の病態	到達目標: 感覚・運動器系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 運動器・感覚・末梢神経系の障害とその仕組みについて学習する。				
	2	中枢・精神系疾患の病態	到達目標: 中枢性疾患、精神疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 脊髄・脳幹・間脳・大脳皮質の障害とその仕組みについて学習する。				
	3	呼吸・循環系疾患の病態	到達目標: 呼吸循環系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 気道・肺・心臓・血管の障害とその仕組みについて学習する。				
	4	血液・免疫系疾患の病態	到達目標: 血液・免疫系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 血球・血漿・造血・免疫系の障害とその仕組みについて学習する。				
	5	消化器系疾患の病態	到達目標: 消化器系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 上部・下部消化管および消化系付属臓器の障害とその仕組みについて学習する。				
	6	泌尿器系疾患の病態	到達目標: 泌尿器系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 腎臓・尿路系の障害とその仕組みについて学習する。				
	7	内分泌・生殖系疾患の病態	到達目標: 内分泌・生殖系疾患の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: ホルモン、内外生殖器の障害とその仕組みについて学習する。				
	8	腫瘍・先天性疾患の病態	到達目標: 先天性疾患、腫瘍の病態を解剖生理学に基づいて理解する。 学習内容: 染色体、遺伝子、発生の障害とその仕組みについて学習する。				
	成績評価の方法・基準	期末試験(100%)					
教科書							
参考図書	超ビジュアル病態生理学 トートラ「人体の構造と機能」 「病態生理学」		吉岡俊正・著 細谷安彦ら・編訳 田中越郎・著		メジカルビュー社 丸善 医学書院		
教員からのメッセージ	「生理学」または「人体の機能」が基本となります。授業の進度、その他必要に応じて授業内容や順番が変更されることがあります。取り上げる疾患は年度により異なる場合があります。						